

# 特定非営利活動法人 DPI (障害者インターナショナル) 日本会議

Japan National Assembly of Disabled Peoples' International (DPI-JAPAN)



〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-11-8 武蔵野ビル 5F

Tel: (03) 5282-3730 Fax: (03) 5282-0017

E-mail: office@dpi-japan.org

URL: <http://www.dpi-japan.org>

2018年6月5日

文京区議会 議長 名取顕一様  
区議会議員各位

## 柳町小学校・明化小学校のエレベーター設置位置見直しのお願ひ

障害の有無によって場を分けない真のユニバーサルデザインの実現を！

特定非営利活動法人 DPI (障害者インターナショナル) 日本会議 議長 平野みどり

DPI 東京行動委員会 代表 八柳卓史

平素より障害者の権利の促進や福祉の増進にご尽力いただき、心より御礼申し上げます。

私たち DPI (障害者インターナショナル) 日本会議は全国 97 の障害当事者団体から構成され、障害の種別を越えて障害のある人もない人も共に生きるインクルーシブな社会 (共生社会) の実現に向けて運動を行っている障害当事者の団体です。とりわけ、バリアフリーの課題については 1990 年代から取り組みを続け、本年 5 月 18 日に成立したバリアフリー法改正法への働きかけや、東京 2020 オリンピック・パラリンピックへのバリアフリー整備について働きかけを行っております。

さて、文京区では明化小学校と柳町小学校の建て替え計画があります。いずれもエレベーターが設置される予定で大変嬉しく思っております。しかし、計画案では設置場所が一般のルートとは離れた場所にあります。明化小学校・柳町小学校のエントランスホールに階段があり、一般の児童はこれを使って移動しますが、エレベーターは明化ホール、やなぎホールを通り抜けた奥にあります。これでは障害のない児童と障害のある児童のルートが別れてしまいます。さらに、ホールを通らないとエレベーターには行けないため、ホールを使用しているときは、他のルートにまわるか、行事の中を通らなければなりません。

私たちは、出来るだけ障害者と健常者のルートを分けずに整備することが、インクルーシブ社会実現のために重要な要素だと考えております。さらに、この 2 つの小学校だけではなく、文京区が今後建てる建築物がこの視点を踏まえて、真のユニバーサルデザインで整備されるようにしていただきたく、下記 2 点ご要望いたします。

### 要望事項

1. 明化小学校と柳町小学校のエレベーターの設置位置を見直し、階段近くに設置してください。
  - ・ 障害の有無によって別け隔てのない共生社会を実現するためには、障害の有無によって場を分けない整備が重要です。出来るだけ同じルートで移動できるようにエレベーターの設置場所を階段近くにしてください。
2. 障害当事者、学識経験者を構成員とした検討会を立ち上げ、区のバリアフリーデザインの建築指針を策定してください。
  - ・ 上記 2 つの学校の整備にとどまらず、今後建築する区立の建物が真のバリアフリーデザインを実現するために、明確な整備指針が必要です。障害当事者や学識経験者等を構成員とした具体的な整備

指針を策定し、今後の整備を進めてください。

ぜひとも上記2点ご検討頂きますようお願い申し上げます。